

マルニ新井本店の敷地内で行われたジーンズの雪さらし



豪雪地・妙高の風土が生んだ藍鉄色(あいてついろ)ジーンズがここに一。妙高市姫川原でデニム製品を製造販売する「マルニ西脇」(西脇謙吾社長)は、今冬も自社ブランドのジーンズやデニムジャケットを地下水に浸し真っ白な雪にさらした。独特の風合いある藍色に仕上がっている。

自社のデニム500着

妙高市 マルニ西脇

奇跡の「藍鉄色」誕生

地下水に浸し雪さらし

同社は1972年、先代の父・正信さんが創業し今年で46年目を迎えた。若くして急逝した先代を現社長が引き継ぎ、上杉謙信の気塊である毘沙門天の「毘」や前身の「西脇」

長造商店」など新旧のブランドを生み育て、地元こだわった製品を作り続けている。昨年10月には、日に照らされた雪が青く見えることからイメージした新ブランド「Blue

雪さらし作業は今年で3年目。着物の雪さらしにヒントを得た。さらす前には同店敷地内に湧く地下水に有効利用も兼ねて浸す。あらためて水質を調べたところ鉄分の含有量が多く、洗い加工に好適な水だった。「藍色四

と話している。今シーズンは1月下旬から3000~5000着を雪にさらした。雪さらしを経たデニム製品は順次店頭に並び、県内外で販売される。

Snow White」を商標登録している。雪さらし作業は今年で3年目。着物の雪さらしにヒントを得た。さらす前には同店敷地内に湧く地下水に有効利用も兼ねて浸す。あらためて水質を調べたところ鉄分の含有量が多く、洗い加工に好適な水だった。「藍色四十八色」で「藍鉄色」に相当するという。地下水に約1時間浸し、その後雪原にさらす。洗いを繰り返しながら、回収後は丸一日、天日で干す。西脇社長は「地下水に浸して雪にさらすと、深みのある藍鉄色になり風合いが増す。妙高の歴史と伝統、風土が生んだ奇跡です」と話している。



冷たい地下水にデニム製品を浸す西脇社長



「Blue Snow White」の商標登録証を手にする西脇社長